

2 がっひかりごう

令和 6 年 2 月 1 日 輝 保 育 園

発表会が近づき、子どもたちから練習の話を聞いているお家の方もいらっしゃると思います。今年度は、全クラス参加の発表会です。ステージに立つことすら初めての経験の子もいる中、練習では一人ひとりが、毎日一生懸命取り組んでいます。お家の方からの言葉が、何よりも大きな自信に繋がります。どうぞ、子どもたちの努力を認め、励ましや称賛の言葉をかけて下さい。当日をお楽しみに。



(((う る う 年)))

今年 (2024 年・令和 6 年) は、4 年に 1 度の「うるう年」にあたります。

暦と実際の太陽の動きの差を調整するために、2 月 29 日が追加された特別な年です。

★ バレンタインデー ★

2 月 14 日といえばバレンタインデーです。

バレンタインといえばチョコレート。

チョコレートをいつごろから与えるかの方針は各家庭で異なるかと思いますが、少なくとも消化器官が未発達な 1 才半ごろまでは控えたほうがよいでしょう。

チョコレートによる健康効果も広く見聞きしますが、食べすぎは厳禁です。

また、歯にこびりつきやすいので、虫歯にも注意しましょう。



= 2 月の行事予定 =

3 日 (土) 生活発表会
6 日 (火) 節分行事
8 日 (木) 避難訓練
22 日 (木) 誕生会・身体測定

=== ナース・レポート ===

【冬は胃腸炎のシーズン】

発熱、嘔吐、下痢の症状が揃うとかなりの確率で感染性胃腸炎。

なかでもロタウイルスとノロウイルスが有名。

感染力は非常に強く、大人も罹患します。

ノロ、ロタいずれも特効薬はなく、発熱や嘔吐などの対処療法が中心となります。

病初期で大事なのが水分補給。

一般的なスポドリは糖分濃度が高く、胃での停滞時間が長くなり吸収に時間がかかります。

また塩分も足りないことが多いので、経口補水液 (OS-1) のほうがベター。

それ以外だと半分 (～好みの濃度) に薄めたりんごジュースや具なし味噌汁、野菜スープなどもおすすめ。

これらを数口ずつ、時間をかけて摂取します。脱水が進んでくると喉がかわきますが、一気飲みは絶対にダメです。

食欲がでてきたらお粥やうどんなどの炭水化物中心で消化によいものを摂りましょう。

ポイントは「食べて良い物の目安は便と同じか、それより柔らかい物」です。

小児科 Dr のコラムより抜粋

予防法は「ひたすら手洗い」です。

便や吐物の処理に留意し、家族間での感染拡大を防ぎましょう。

《 《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっているか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 親離れ・子離れ (依存と自立) ～

- ① 学童期：自立への第一歩は、子どもに任せること。

年齢や発達段階に応じて、子どもの自立に向けて、子どもに任せてみるという姿勢をとることが「親離れ」「子離れ」のために必要です。

大人から見て、我が子の力や判断力等が不安な場合もありますが、勇気をもって子ども自身の力を信じて「見守りながら、任せる」ことに取り組んでいきましょう。

いつまでも任せることを避けていると、子ども自身の力や判断力が育たず、常に親の意見を求め、自分では行動できない「指示待ち」になるかもしれません。

子どもに任せる第一歩として「お手伝い」があります。

安全面を考慮して簡単なものから始めてみてはどうでしょう。

「洗濯物をたたみ、整理する」、「靴をそろえる」等、親子で話し合ってみましょう。

その際に大事なことは、親が決めるのではなく、子どもに決定させることです。

親に決められたことをするのはなく、自分自身で決めたことを任せることに意味があります。

失敗したり、やらなかったりすることもあるかもしれませんが、「お手伝い」をがんばった過程を見て、たくさんほめてください。

このような経験をすることが、次の思春期にもよい影響を与えます。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

たんぽぽぐみ

0 才児



おしゃべりが上手になり、にぎやかな 0 才児クラス。言葉の獲得には音声を聞く、発する、人とのコミュニケーション、物の認知が必要となります。乳児期の早い内から様々な音を聞き分け、特に人が話す音を心地よいと感じ、音声器官が発達すると母音を中心とした音声を発するようになります。また、コミュニケーションを通して感情豊かな喃語や発語が増え、言葉の理解が深まると、指差しや身振りも交え、片言の言葉で意思を伝えようとします。言葉の獲得は個人差が大きいですが、泣いて何かを伝えようとしていた時期から、一生懸命に自分の意思を言葉を使って伝えようとする姿はとても微笑ましく成長を感じる瞬間です。色々なものが育まれる言葉でのやり取り、語り掛けを今後も楽しんでいきます。

たんぽぽぐみ

1 才児



発表会では、大きなかぶをもとにしたやり取り遊びを楽しみます。大きなかぶの絵本を読むと、とても気に入った子どもたち。「うんとこしょどっこいしょ」と一緒にかぶを抜くときのかけ声をかけたり、顔の前で手を振りながら「まだまだかぶは抜けません」と言ったりと、とても可愛らしい姿を見せてくれています。言葉がどんどん出て、保育者と言葉のやり取りを楽しむ子、保育者の問いかけに、うなずいたり、笑顔を見せたりして応える子と、反応はそれぞれ違います。一人ひとりから出てくる言葉、仕草を大切に受け止め、やり取りを楽しんでいます。当日は、たくさんのお客様に緊張して動けなくなったり、泣いてしまったりする子も出てくると考えられます。そのような姿も受け止め、来年に繋がる一歩と温かく見守っていきます。

すみれぐみ

2 才児



発表会の練習を頑張っています。「先生踊る!」と意欲的に練習に取り組んでいます。恥ずかしい気持ちを抱えながらも、ステージに立つこと、そして、保育士や友だちと一緒に楽しむことを目標に取り組んでいます。先日のリハーサルでは、たくさんの方が見守る中、笑顔でステージに立つことができました。秋の運動会では、見られることに緊張し泣いていましたが、この数か月で見てもらうことに喜びを感じる姿に、成長を感じました。すみれ組の子どもたちは、初めての発表会になります。当日は、恥ずかしい気持ち、不安な気持ちなど、色々なことを乗り越え、頑張る子ども達の姿に、心の成長を感じてもらいたいと思います。この経験が子どもたちの自信となり、様々な意欲につながるよう見守っていきます。当日は、温かい応援をよろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ

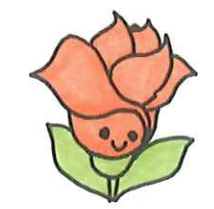
3 才児



寒さに負けず、子ども達は元気いっぱい遊んでいます。最近のお気に入り、ドッジボールやサッカーです。友達の気持ちを察してボールを譲る子もいれば、闘争心が溢れ、派手に転んでも平気な子など、一人ひとりの性格や長所が輝いています。「遊ぶ時間はいっぱい遊んで、頑張る時間はしっかり頑張る」。発表会関連の活動は「頑張る時間」と位置づけています。リハーサルでは他クラスの演目を見ながら「次はちゅうりっぷさん!」と楽しみでしょうがない様子。その姿に期待していましたが、いざ自分達の番になり幕が開くと――予想以上の緊張でした。当日はもっと緊張するかもしれません。「ドキドキしたけど楽しかった!」の言葉が目標です。劇中のポーズや動物の動きはアイデアを出し合い子ども達が決めました。夫々の可愛い姿は見所です。

ばらぐみ

4 才児



先月は、生活発表会の練習を中心に活動してきました。「太鼓の練習したい」、「もう劇の歌覚えたい」と意欲的な姿が見られました。しかし、劇の練習中に自分の出番が終わるとおしゃべりが始まってしまいます。一部の子が「静かに。今待つ時間よ」と声を掛けてくれますが、集中力の持続が難しい様子でした。残りの時間、クラス全体のまとまりを意識しそれぞれの力が発揮できるよう活動していきます。まだ寒い日が続く温度差も大きく、体調管理により一層注意が必要です。園生活の中で子ども達は手洗いを特に意識しているようで、風邪予防の話題になると一番に「手をちゃんと洗う」と声が上がります。指の間や手首までしっかり洗おうとする姿が見られます。子ども達の手洗いへの意識を高め、一緒に体調管理を頑張っていきます。

ひまわりぐみ

5 才児



1 月は生活発表会への取り組みが中心となりました。劇中の踊りを考えたり、主人公が生き返る方法を考えたりしましたが、なかなか決まらず保育者に「決まらない! どうしよう」と助けを求めてきたので、保育者も話し合いに加わりました。子ども達は人の意見をしっかりと聞き「それいいね」と認めてくれ、不安に思っている子がいると「〇〇ちゃんは大丈夫だよ」と励ましてくれるので、自信に繋がっています。生活発表会を楽しみにしている反面、恥ずかしさや緊張も大きいようです。練習でも、みんなでする楽しさを十分に感じています。当日はみんなで心をついに、やり遂げた達成感を感じられるよう願っています。これからは就学に向け、早寝早起き、挨拶、食事のマナー、持ち物の始末など身の回りのことを、見通しをもってできるようにしていきます。